

第 29 回定時株主総会 質疑応答

日時 2024 年 12 月 20 日（金曜日）午前 10 時～

場所 札幌市白石区平和通十五丁目北 1 番 21 号

株式会社 CE ホールディングス 本社 4 階会議室

【Q1】

減少する資本準備金の額は、なぜ 4 億円なのでしょう。もっと減少させてその他資本剰余金に振り替えてもいいのではないのでしょうか。

【A1】

2024 年 9 月末時点の CE ホールディングス単体での資本準備金は約 12 億円ございました。そのうち 4 億円の減少とした理由は、2025 年 9 月期の CE ホールディングス単体の利益の状況を考慮した結果、資本準備金 12 億円のうち 4 億円の振り替えで十分であると判断したためです。今後の状況をみて更なる資本準備金からの振り替えが必要かどうかを判断してまいります、という旨の回答を行いました。

【Q2】

議長（齋藤直和氏）は本総会でなぜ退任するのでしょうか。

【A2】

当社グループの柱である電子カルテシステムは、厚生労働省をはじめとした国の施策など、今後、環境が大きく変化することが予想され、その状況下の中で当社事業を成長させていくには、柱である電子カルテシステムを扱う株式会社シーエスアイの社長である新里雅則氏が代表取締役社長に適任という判断になりました。齋藤直和氏は株式会社マイクロンの代表取締役会長に専念し、同社の事業の挺入れを行ってまいります、という旨の回答を行いました。

【Q3】

サンカクカンパニーはどのように業績のV字回復を実現するのでしょうか。

【A3】

デジタルマーケティングの市場環境はニーズがなくなっているのではなく、顧客の業務内製化が進んでいるという状況でございます。

従来は営業を積極的に行わなくとも顧客からの引き合いがございましたが、営業体制の強化を行い、自ら営業を積極的におこなってまいります。また、これまで広告の中身を作っほしいという引き合いが多かったのですが、それに加え、広告を掲載するサポートや上流のマーケティングや企画なども対応し、下流の結果分析や改善までを視野に入れて、業容を拡大して売上を増やすことを行ってまいります、という旨の回答を行いました。

以上